

豪雨災害の教訓と防災のまちづくりの課題 ～自治体の役割は～

2019年10月の台風19号は中小河川の氾濫などにより県内に大きな被害をもたらしました。近年の相次ぐ豪雨災害で「災害の少ない栃木県」とはいえなくなってきました。何故、被害が大きくなったのか、避難誘導は適切だったのか、避難所の運営は、被災者の生活・住宅再建支援は、今後の防災対策は等々、住民の命と健康、財産を守るための課題山積です。

この講座では、近年の豪雨災害の教訓から、今後頻繁に起こるであろう豪雨災害に地域・自治体でどう対応していくのか、自治体の役割などについて考えます。

❖講師 中村 八郎 氏 (防災まちづくり研究家)

長野県生まれ。日本大学大学院修士課程修了。防災都市計画研究所勤務を経て東京都国分寺市役所に20年間勤務。防災まちづくり等都市計画業務に従事。前NPO法人くらしの安全安心サポーター理事長。現在、災害被災地の調査、防災対策及び政策に関する研究をフリーで実施。
【主な著書】「防災コミュニティ」(2010年、共著、自治体研究社)、「大震災・復興へのみちすじ」(2011年、共著、自治体研究社)、「現代の災害と防災」(2016年、共著、本の泉社) 他

❖日時 2020年2月9日(日) 13:30～16:30

❖会場 栃木市国府公民館 中会議室

(〒328-0002 栃木市惣社町 228-1 TEL 0282-27-3002)

❖参加費 議員 2000 円/会員 1800 円、一般 1000 円/会員 800 円

❖参加申し込みは、FAXかメールでお願いします。

主催 とちぎ地域・自治研究所

〒321-0218 壬生町落合1-15-5 ポラーノ・どんぐり103号

TEL/FAX 0282(83)5060 E-mail support@tochigi-jichiken.jp

第17期とちぎ自治講座：地方議員研修会受講申込書

(上記連絡先あて、Fax又はE-mailで)

氏名	住所
電話番号	所属団体・勤務先等